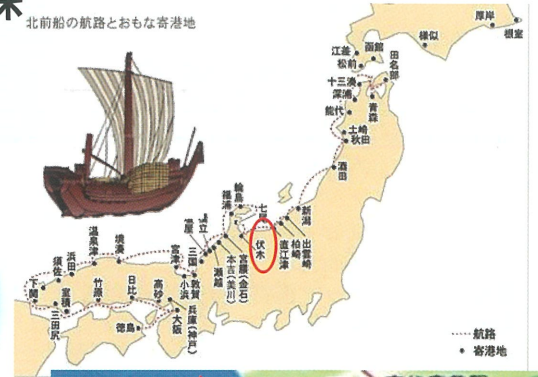


国宝 勝興寺 本堂で落語会

二部：7月26日 AM 第2回『おてらくご』（前売り3,000円）

奈良時代の越中国府から栄えた伏木
歴史・文化・先人がおもしろい!!

北前船の航路とおもな寄港地



原始古代ルート 伏木（巨理湊）～敦賀・小浜～琵琶湖～都

日時 第2部：令和8年 7月26日（日曜日） 開場 9時30分 開演 10時～

開場 国宝 雲龍山 勝興寺 本堂

七代目 笑福亭 松喬・2026年2月1日 三代目 笑福亭 三喬 襲名 全国襲名披露公演中
上方落語家として精力的に活躍の場を広げる師匠2名をお迎えして開催いたします。

予約 ふしぎな伏木まかふしぎな会

受付期間：令和8年6月10日～令和8年7月15日迄

予約の申し込み方法

下記ショートメール／ Eメールで申込み手続きをお願い致します。

- ・ 電話 (ショートメールでお願いします) 090-9974-0345 (田 祐久)
- ・ Eメール fusiginafusiki795@gmail.com

申し込みの際は、①お名前 ②町名 ③一部・二部の区別 ④枚数 を記入の上申し込みください。
駐車場等のご案内は後日メール・現地誘導等でご案内させていただきます。

※ショートメール・Eメールで申し込みの方は事務局にて予約登録処理後に受付番号をご連絡
(返信) いたします。当会からの連絡が取れた時点で予約完了となります。

※(知りえた情報は次回のご連絡のみ使用することがあります。他の使用は一切ありません。)

駐車場等のご案内は後日メール等でご案内させていただきます。

木戸銭 前売り券：3000円 当日券：(3500円) (全自由席)

(現金) 当日受付番号をお持ちの上、会場受付にてお支払いください。当日券は受付で申込みください。

木戸銭には国宝勝興寺への協力金が含まれています。

講演終了後、短い時間ではありますが「比奈の会」様のご厚意により勝興寺の説明会(ご案内)が聞けます。お時間のある方は是非ご参加いただければ幸いです。

しょうふくていしきょう
笑福亭松喬

経歴

昭和58年 六代目笑福亭松喬に入門
昭和61年 二代目笑福亭三喬を襲名
平成19年 第1回繁昌亭大賞
大賞受賞
平成26年 公益社団法人
上方落語協会理事 就任
平成29年 七代目笑福亭松喬を襲名
令和3年 第76回文化庁芸術祭
大賞



生年月日/1961年(昭和36年)3月4日
出身地/兵庫県西宮市
趣味/ハードロック鑑賞・喫茶店の会話
特技/寄席の獅子舞

しょうふくていさんきょう
笑福亭三喬

経歴

平成10年 二代目笑福亭三喬
(現・七代目松喬)に入門
平成20年 第45回なにわ芸術祭新進
落語家競演会
新人賞受賞
平成24年 第2回繁昌亭
ドリームジャンボコンテスト
小枝杯グランドチャンピオン
令和8年 二代目笑福亭三喬を襲名



生年月日/1974年(昭和49年)9月27日
出身地/兵庫県尼崎市
趣味/草野球・釣り(うなぎ釣り・海釣り)・プラレール
特技/篠笛(東西落語の全出囃子)上方落語会で三本指に
入る腕前(藤舎流横笛奏者 藤舎次生に師事)

らくご
落語の歴史



ワシは1585年7月越中出陣(佐々成政をくだ)の際、勝興寺に禁制を発し保護の意思を明示したのじゃ。フハハー。境内の土塁はすごいぞ!是非見てほしいがや。

人間の生活に笑いは必要です。仏教は大切な教で、お寺のお坊さんは日本各地で説教をしましたが、聞く人たちを笑わせる技術を持っていました。江戸時代の初期、京都の安楽庵策伝というお坊さんが笑い話を集めた『醒醉笑』が落語の原点といわれています。「平林」「子ほめ」などのものになる話のついでです。

一部: 25日(土曜日) 13時開演 **親子で落語** お寺で生の落語で楽しんでみよう!

らくご
落語のはじまり

落語のはじまりは戦国時代のお伽衆といわれます。豊臣秀吉につかえた曾呂利新左衛門が特に有名で、おもしろい話をして秀吉を笑わせました。そして、江戸時代、同じような時期(17世紀末)に、京都に露の五郎兵衛、大坂に米沢彦八、江戸に鹿野武左衛門という人たちがおり、落語の興行をしました。これが職業落語家の始まりといわれています。その後、江戸では烏亭焉馬、三笑亭可楽などが活躍して落語が根づきました。

上方落語

見台

木でつくられた小さな机。ここで小拍子をたたく。本物の机に見立てることも多い。

小拍子

2本1組の小さな角材。見台に当てると高い音がする。場面転換の時にたたく。

扇子・手ぬぐい

扇子は箸・筆などに見立てて使い、なにも描かれて白扇を使います。手ぬぐいは財布や手紙などに見立てて使います。

ひざかくし

上方落語に独特のもの。着物の裾の乱れが見えないように隠す。木でできたついたてのような置物。



二部: 26日(日曜日) 10時開演 『おてらくご』

『おてらくご』は京都西本願寺の日曜講演で開催される落語会の名前です。お寺+落語=おてらくご この名前は昨年勝興寺本堂で落語会を開催するにあたり、京都西本願寺のお許しを得て第1回『おてらくご』を釈徹宗先生の応援メッセージを頂き、演目「お文さん」をご披露いたしました。

主催: ふしぎな伏木まかふしぎな会
共催: 高岡市教育委員会
後援: 伏木・古府・太田小学校 PTA
: 更生保護女性会(伏木支部)